



特別支援教育について



今年度も庄内教育事務所では特別支援教育の推進に向けて研修を実施しております。教職2年次フォローアップ研修会等でもお伝えした学級づくりのポイントについて共有していきたいことを紹介します。

□特別支特別支援教育の視点からの学級づくりのポイント

- 温かい「まなざし」と「笑顔」に囲まれること
個別支援も大切だが、それ以前に安心と安全をベースにしたアプローチから個別的な事情を分かろうとする教師・支援者がいることが何よりも重要。
- 「熱心な無理解者」にならないように注意しよう（児童精神科医の故・佐々木正美さん）
子どもについて「無理解・誤解・理解不足」などの状態にもかかわらず、熱心といわれるくらい「直そう、正そう、変えよう」と積極的な指導・支援を繰り返し、かえって当事者の状態を悪化させてしまうこと。

今後の研修の予定（特別支援教育研修会）※各校にお知らせします。

- 9月3日（火）（オンライン）14:00～16:30
「教育機関における建設的対話からはじめる合理的配慮」 平林 ルミ 氏
- 11月14日（木）（オンライン）14:30～16:30
「発達障がいのある児童生徒の理解と指導・支援（仮）」 玉木 宗久 氏



昨年度から実施している「第4次特別支援教育推進プラン」の計画に合わせて、特別支援教育課では、「（仮）特別支援教育コーディネーターの連携マニュアル」の作成や「山形県教員指標」中の「特別支援教育力」をより具体化した「（仮）教員が身に付けるべき発達障がいに係る専門性の指標 セルフチェックシート」を作成しております。また、「クラスでできる支援ヒント集」デジタル版（チェックリスト）も作成されています。関係文書データを2次元コードからご覧いただけますので、御活用ください。御質問、御意見等ありましたら、庄内教育事務所まで御連絡ください。

新時代の英語教育推進事業<<4年目>>

令和3年度から、児童生徒の英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図るため、県内で20名の小・中学校の先生方を「英語教育実践リーダー」として任命し、実践研究を進めております。庄内教育事務所管内では、今年度、4名の先生方に実践研究をお願いしております。今後公開予定の授業研究会にぜひ御参加いただき、多くの先生方から共に実践していただければと思います。

三川町立横山小学校	松田 祐樹 教諭
酒田市立琢成小学校	池田 友晃 教諭
三川町立三川中学校	高橋 司 教諭
酒田市立第二中学校	佐藤 凜 教諭

10月11日（金）酒田市公開研（酒二中）	2年生外国語科
11月22日（金）県公開研（琢成小）	4年生外国語活動
11月29日（金）県公開研（三川中）	1年生外国語科
12月17日（火）三川町公開研（横山小）	4年生外国語活動



いじめ・不登校未然防止推進事業 地区協議会①

5月23日（木）に今年度1回目の庄内地区いじめ・不登校未然防止推進事業地区協議会を開催しました。今回は、昨年度の2回目に引き続き、神田外語大学客員教授 嶋崎 政男氏を講師に迎え、「いじめ未然防止につながるよりよい児童生徒との関わり方」をテーマに研修会を行いました。参集開催で70名を超える先生方から御参加をいただきましたことに感謝申し上げます。



嶋崎先生からは、未然防止につながる「ナレッジマネジメント※」、児童生徒、そして保護者との関わり方のポイントについてお話をいただきました。また、児童生徒に対して「どんな言葉をかけるか？」を先生方と一緒に考える演習の中で、共感的な人間関係づくりの3つのABCとして、アドラー心理学、ブリーフセラピー、コーチングの視点についても触れていただきました。参加された先生方からは、「演習を交えながらのあっと

いう間の時間でした。」などの声をいただきました。各校における取組みに活かせる情報を嶋崎先生から教えていただきましたので、引き続きいじめ未然防止の取組みを推進していただければと思います。

※ナレッジマネジメント：全職員が「他校で起こったことは自校でも起こる」との自覚を持って再発防止に努めること



◆参加者の感想より（一部抜粋）

- いじめなどの未然防止には、教師との豊かな関わり方の構築を図ることが大切で、共感的な人間関係を築くためには、訊くことを大切にするとあり、ためになりました。実際の指導に活用できそうです。
- 児童との共感的な人間関係を育むために、アドラー心理学やコーチングのスキルを活用しながらも、児童の気持ちを受け入れることを大切に、言葉を引き出していきたいと感じた。
- 危機管理体制について、ナレッジマネジメントという概念は初めて知った。打合せ等の10分などで共有していくことが大切というのは気軽にできるし、大事にしていきたいと感じた。

全県学力向上オンラインミーティング

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による確かな学力の育成に向け、下記の内容で、オンラインでの研修会を今年度4回開催します。

第1回(5/21)「校内研究の充実・推進を図るうえで大切なこと」
講師 阿部 昇氏（東京未来大学 特任教授）
事前研・事後研も含めてチームで授業を創ることや研究を日常化していくこと等、質の高い校内研究を実現していくためのポイントについてお話をいただきました。

第2回(6/27)「情報活用能力の育成に向けて」 講師 GIGA StuDX 推進チーム
情報活用能力の必要性について改めて確認することができました。また、チャットやブレイクアウトルームでのグループ協議を通して、実践例や課題等について情報共有を行いました。

第3回(11/27)「学力育成の一層の充実に向けて(仮)」、第4回(2/5)「学力育成に向けた授業改善について(仮)」を今後予定しております。各開催日の1か月前頃に詳細をお知らせしますので、ぜひ御参加ください。

体育実技指導者講習会

6月13日（木）、酒田市立若浜小学校を会場に、標記研修会を行いました。

講師を若浜小6年生担任の加藤新輝先生から務めていただきました。加藤先生は、5月に秋田県で行われた「体育・保健体育指導力向上研修（東部ブロック）」に参加し、その伝達講習会でもありました。

「体育が苦手な児童生徒のための授業づくり」のテーマで、体づくり運動について講義・実技を通じた講習を行いました。

参加者の先生からは、「実践的なものをたくさん学ぶことができた」「体育が専門ではなかったのが貴重だった」との声をいただきました。来年度も開催を予定しておりますので、ぜひ御参加ください。

